

「笑顔あふれる元気な行田」 に向けて全力投球

全ての世代の、さらなる安心と豊かさのため、「改革」と「挑戦」を胸に「行田創生」に向けた今後のまちづくりへの抱負を語ります。



写真は3期目の初登庁の様子。大勢の市の職員に拍手で迎えられ、新たなスタートを切った工藤市長。

先般行われた市長選挙におきまして、市民の皆さまのご支援とご厚情を賜り、3期目の市政の重責を担わせていただくこととなりました。誠に光栄に存じますとともに、寄せられた期待の大きさと責務の重さに改めて身の引き締まる思いでございます。

これまでの2期8年間は、閉塞感漂う厳しい経済情勢下でありながらも、「改革」と「挑戦」を胸に、財政健全化を推進するとともに、「ぬくもり」「ふるおい」「にぎわい」を柱とする「行田」ならではのオンラインワンのまちづくりに着手し、一歩ずつではありますが、着実に歩みを進めることができました。おかげをもちまして、2期目のマニフェストに掲げた施策については、93パーセントという高い達成率を得ることができました。これもひとえに、

市民の皆さまの市政に対する深いご理解とご支援の賜物と、ここに改めて感謝申し上げます。次第であります。

さて、現在、国において人口の東京一極集中や人口減少など、国の存亡にかかる問題を解決する糸口として、「地方創生」の取り組みが本格化しています。行田市としても、国の支援を有効に活用し、スピード感をもって地方創生の施策を展開するために、いち早く行田版「まち・ひと・しごと創生本部」を立ち上げ、「総合戦略」の策定を進めております。

特に、人口減少対策は、行田市においても喫緊の課題であります。これまでも私は「子育て世帯の定住促進」や「企業立地による雇用の創出」、「古代をテーマとした観光戦略」など、国や他の自治体に先駆け、地方創生に取り組んで

きたところでありますが、今年を改めて「行田創生元年」と位置付け、今後さらに本腰を入れて取り組んでまいれる所存であります。

私は、市民第一のまちづくりを基本とし、新たに「笑顔あふれる元気な行田」をキーワードとして、5つの行田宣言を掲げ、全ての世代がさらに安心と豊かさを実感できるまちづくりを積極果敢に推し進めてまいります。

私は市民の皆さまと共に、まちの持つ魅力にさらに磨きをかけ、行田市の限らない発展と成し遂げ、明日の活力ある元気な行田を力強く切り拓いていく覚悟でございます。

今後とも市民の皆さまには、市政に対する絶大なご理解とご協力を心からお願ひ申し上げます。

さらに安心、
もっと豊かに

5つの 行田宣言

宣言1 市民の暮らしと安全を守ります

- ・防災・減災、消防機能を強化します。
- ・地域防災力を高めます。
- ・空き家対策に積極的に取り組みます。
- ・公共インフラの耐震化・長寿命化を進めます。
- ・便利で安全な公共交通網を整備します。



宣言2 子育て・教育環境No.1を目指します

- ・安心して出産・子育てができ、女性が活躍できる環境を整備します。
- ・多子世帯の経済負担を軽減します。
- ・小・中学校の少人数学級編制をさらに拡大します。
- ・安心して勉学に専念できる教育環境をつくります。
- ・学校の余裕教室を活用し、交流・体験活動や放課後対策を充実します。



宣言3 人と自然にやさしい健康長寿のまちにします

- ・生涯健康都市の実現に地域連携で取り組みます。
- ・高齢者が生き生きと活躍できる機会を増やします。
- ・安心して暮らせる地域福祉を充実します。
- ・総合公園に新たな多目的広場を整備します。
- ・省エネ・創エネによる行田エコタウンを進めます。



宣言4 活力みなぎるにぎわいのまちを創出します

- ・人口減少対策プロジェクトに取り組みます。
- ・企業誘致と雇用の確保に全力を尽くします。
- ・足腰の強い攻めの農業を確立します。
- ・中心市街地の再生とJR行田駅周辺の再整備に取り組みます。
- ・空き店舗などを有効に活用し、地域活性化につなげます。
- ・道の駅やアグリパークなどを備えた「産業交流拠点」を整備します。
- ・行田ならではの観光戦略を展開します。



※イメージです。

宣言5 ていねいでスピード感のある市役所にします

- ・市民と市長の84,000人交流運動を展開します。
- ・市民第一の視点で「おもてなし市役所」を進めます。
- ・行政改革でさらなる財政健全化に取り組みます。
- ・公共施設に民間活力を導入し、市民サービスの向上につなげます。
- ・市民相談コンシェルジュを配置します。

▶問い合わせ 企画政策課企画・改革担当(内線309)

